



# 二子玉川

## 自分の未来を自分の力でデザインする人へ

副校長 家本 咲子

1月24日に本校では「道徳授業地区公開講座」が行われました。道徳の授業をご覧いただいた後に、保護者と教職員との懇談会がありました。ご参加いただいた保護者の皆様のご協力で、大変素晴らしい時間となりました。テーマは「子どものトラブルにどう対応する?」でした。「子どもが学校の様子を何も話してくれない。どこまで親が介入したらしいのか」「女子同士の関係についてどこまで学校に相談していいものか」など、現在抱えている悩みを共有し、保護者としてこれまでの経験や成功例を挙げてのアドバイス、学校としての思いを互いに伝える良い機会となりました。

今回は「親が子どものことにどこまで関わるか」ということが話題の中心だったように感じています。私には「子どもにもともと備わっている自力解決能力を信じる」という教育理念があります。ただし、子どもによってその能力をすぐに発揮できる子もいれば、なかなか発揮できない子もいます。教育には時間がかかりますから、焦らずに、それぞれの子どもが自力解決能力を発揮できるような声かけをしたり、そのチャンスが来た時に適切にアシストしたりするのが大人の役割だと思っています。子どもに何かトラブルが起きた時、またはトラブルが起こる前に先回りして回避するという大人の関わりは、時として子どもが自力解決能力を発揮するチャンスを阻んでしまうかもしれません。大人の役割は他にもあります。それは、正しく情報を共有する、ということです。子どもが大半を過ごす学校には、困ったことや心配なことはいつでも相談してください。学校は、解決の方法を子どもたちと考える場です。どう行動したらよかったです、互いの思いを伝え合いながら自力解決能力を発揮できるよう導いていきます。

メジャーリーグでも活躍した野球のイチロー選手が、日米の両国において野球界の殿堂入りを果たしたというニュースが飛び込んできました。イチロー選手が「自分の能力を生かす能力は別にある。その生かす能力を生かすも殺すも自分次第だ」と会見で話しているのを見ました。そもそも人にはさまざまな能力が備わっていて、その能力を「生かす能力」が別にある。大切なのは『「生かす能力」を生かす』ことなのです。

「キャリア・未来デザイン教育」、これは世田谷区が独自に重点として展開している教育施策です。「急激に変化する社会の中で、児童・生徒一人一人が社会の担い手として自らが課題に向き合い判断して行動し、それが描く未来を実現する人材の育成」を目指し掲げられた施策です。自分の未来をデザインするのは紛れもなく自分自身であり、その中で得た自信こそが、他者や地域に貢献し役に立とうとする原動力になっていくのだと思います。

今年度も残すところ2月と3月を残すのみとなりました。子どもたちには「自分の能力を生かす能力」があります。その能力が最大限生かされるよう学校、保護者、地域が連携して支援していきましょう。

## 【生活指導部より】

### 2月の目標

生活 つよい心をそだてよう 保健 すすんで運動しよう 給食 食後は静かに休もう